

中期経営計画の見直しと成長戦略について

2017年8月に発表した中期経営計画では、最終年度の2020年6月期連結業績における「売上高2,500億円」「営業利益350億円」を目標に掲げていましたが、前期の好調な業績を受け、最終年度の目標数値を上方修正しました。また、次の飛躍に向けた成長戦略で、5年後の2023年6月期連結業績における「売上高3,000億円」「営業利益率16%」を目指します。

市場背景

技術革新の大きな転換点の到来

- スマート社会の構築、5GやIoTの進化
- 再生可能・低炭素エネルギーシステムの進化、エネルギー変換効率の向上

新たな価値創造チャンス!

FY 2017

2017年度 実績

売上高	2,493 億円
営業利益	354 億円
営業利益率	14.2 %

経営基盤の強化

- 人財の育成 → 事業推進力アップ
- グループ連携の深化 → ものづくり力アップ
- 情報基盤の整備 → 状況判断力アップ
- 財務体質の強化 → 成長投資力アップ

FY 2018

持続的成長と企業価値向上に向けた取組みを加速

重点戦略
経営基盤の強化

FY 2019

FY 2020

Update!

2019年度 (2020年6月期) 新目標

売上高	2,650 億円	当初目標 2,500億円 (+150億円)
営業利益	380 億円	当初目標 350億円 (+30億円)

重点戦略

事業成長の推進

● 半導体製造装置事業	メモリとロジックの両輪で成長
● 電子部品製造装置事業	5Gで加速する技術革新をビジネスチャンスに成長
● FPD及びPV製造装置事業	大型TV、OLED投資を中心に長期的継続投資に対応
● コンポーネント事業、材料事業、カスタマーサポート	安定基盤として成長
● 中国市場	販売・生産の強化、事業成長とビジネス拡大

さらなる成長へ

FY 2021

FY 2022

2022年度目標 (2023年6月期)

売上高	3,000 億円
営業利益率	16 %

目指す姿

- 真空技術の総合利用と装置・材料・成膜加工・分析・サービスのシナジー効果の最大化やグローバルなビジネスパートナーとの連携による高い収益性の企業経営
- 次の飛躍のための人づくり、果敢に挑戦する企業文化